

コース紹介

サステナビリティ

1. 概要

将来世代に良好な自然環境を承継しつつ、社会経済の発展を実現することについて、構造的な理解を得ます。地球温暖化を緩和するための脱炭素社会の実現、森林・里山・海域の適切な管理による生態系と地域環境の保全、食料・エネルギー・資源の保全など持続可能な発展の問題について、政治、経済、社会、制度などの視点で分析します。

2. 到達目標

サステナビリティの構造を理解し、その重要性についての認識を獲得します。

環境、地域、そして社会の持続可能性の実現に必要な政府・地方自治体、企業、市民・住民・消費者としての行動についての知識を身に付けます。

そして、行政、ビジネス、市民活動や日常生活を通じてサステナビリティの向上に貢献するのに必要となる知識とスキルを獲得します。

3. 想定される業種・分野

企業のサステナビリティ情報開示の義務化が進展する中で、サステナビリティに関わる知識は、ほとんどの事業活動に関係する事柄であるため、どの分野に進んでも役立ちます。

中でも、環境、開発、農林漁業に係わる業種で学習した成果を生かしやすいでしょう。

具体的には、公務員、エネルギー産業、ディベロッパー、不動産業、造園・公園管理、観光業、農林漁業、食品などが挙げられます。

4. 指定科目

配当年次1年以上・2年以上の科目については、コース選択後の2年次秋学期より履修可能です。

科目名	単位数	科目名	単位数
社会科学総合創造的探究： サステナビリティコース（※）	2	地域計画システム論 I	2
生態学 1	2	地域計画システム論 II	2
生態学 2	2	理論人類学 1	2
自然地理学 I	2	理論人類学 2	2
自然地理学 II	2	環境科学概論	2
環境法 1〔公害規制法〕	2	環境社会学 1	2
環境法 2〔自然保護法〕	2	環境社会学 2	2
国際法 1	2	開発社会論	2
産業構造論	2	都市復興デザイン論	2
環境の産業連関分析	2	イオン環境財団寄附講座 サステナブルコミュニティ論	2
食料と農業の経済学 1 〔食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題〕	2	環境経済学 I	2
食料と農業の経済学 2 〔日本の経験と教訓〕	2	環境経済学 II	2
地理情報システム論 I	2	環境共生社会論	2
地理情報システム論 II	2	環境政治学	2

※自コース学生のみ履修可能